

2018年6月8日

支援者の皆様へ

特定非営利活動法人 PIN Japan  
事務局長 森本泰司

## 第6回 PIN Japan ネパール国際ワークキャンプ報告書

ネパール国際ワークキャンプ実施に際しては、いつもご協力をいただき感謝申し上げます。  
おかげさまで本当に多くの方々のご協力・ご支援をいただき、第6回のワークキャンプも下記のように成功裏に実施することができました。

大変遅くなってしまい申し訳ございませんが、下記のとおり概要をご報告させていただきます。  
今年も引き続きワークキャンプを計画しています。後日あらためてご案内を差しあげたいと思いますので、プロジェクト成功に向けてみなさまのご参加ならびにご協力をお願い申し上げます。

### I. ワークキャンプ

【実施場所】ネパール国 サルラヒ地方・バクティプール村（地図②：標高約136m）  
カトマンズ（地図①）から小型バスで約9時間（休憩・食事時間含む）国境近く



#### 【訪問地】

サク村（地図④：標高約1495m）  
昨年のプロジェクト（CO-OPハウス）

バンティプル（地図③：標高約1000m）  
民宿体験（分宿：民宿組合最初の客）

【関係地】（今回は訪問できず）  
ラメチャップ村（地図⑤：標高約990m）  
第2回ワークキャンプ（学校修理支援）

チットラン村（地図⑥：標高約2150m）  
昨年のプロジェクト

※地図の位置および標高はいずれも iPhone で撮影した写真データに依る

【主催団体】PIN Nepal(NGO), Basudev Prasad Memorial Foundation(NGO),  
PIN Japan(NPO : 8名参加)

【実行委員会】村の人々、カトマンズ・パタン・バクタプールの医療関係者

## II. プロジェクトの内容

### 1. フリー診療（ヘルスキャンプ）および後日の手術

（無料診療で、診察・投薬・治療・入院・手術等日本で負担）

【実施日時】2017年12月28日

【事業の受益対象者】バクティプール村の周辺地域住民（国境を越えてインドからも）

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

ただし、他に地元のロータリークラブなどの協力多数。

【支出】

【実施内容】

フリー診療：

総合内科・特別内科（HIV など）・外科・整形外科・婦人科・歯科・小児科など 1361 人が受診。

内訳は、女性：626（46%）、男性：422（31%）、子ども 313（23%）。

後日の手術、眼科：2人、婦人科：1人、その他精密検査後約 20人。

いつものカトマンズの B.P.コイララ病院や国境なき医師団の医師を中心に

総勢、医師 18 名、看護師 18 名、薬剤師 3 名、ボランティア 15 名（現地 11 名）。

老眼鏡をお寄せいただいたが、眼科医の都合でこの日は診察なし。後日に託す。



受付と順番待ち

診察・治療風景



若手の医師達に良い訓練の機会を与えられるという面も



今回は検査も充実

準備した薬と投薬風景



診察の合間に子供たちに材料を持参した「ぶんぶんごま」の作り方・遊び方を教える。  
1時間ほどで用意した170個の材料がなくなって店じまい



恒例のビンゴゲーム

日本からの参加者8名



景品は協力物資の衣類やお菓子など。  
老若男女、カーストや民族に関係なく平等に！を实践するため、  
また勉強して数字が読めるとゲームが楽しめるという動機付けも  
兼ねて実施。ただ、今回は数字の読めない子どもが多く大変だった。

## 2. 飲料水プロジェクト

【事業の内容】安全な飲み水を確保するために、深く掘り下げ電動ポンプも併設する

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

【支出】

【実施内容】

手動ポンプ：従来の 14m を 18m まで掘り下げる

電動ポンプ：トイレ用にトイレの屋根にくみ上げる



## 3. PIN Reproductive Health Clinic 支援 (ティチョ村)

【事業の内容】PIN Nepal の運営する簡易診療所の助成

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

【支出】

【実施内容】今回は訪問することができなかった

## 4. 地震被害修理と補強工事支援

【事業の内容】第 2 回ワークキャンプで建設した学校 (Manjushrec school Kavre VDC) (ラメチャップ村：冒頭の地図⑤) の被害のあった屋根・建屋の修理支援

【収入】日本チーム支援者より寄付・献金

【支出】

【実施内容】今回は訪問することができなかった

## 5. PIN チャリティバザー

【実施内容】

子どもたちの「シェルター」PIN ハウスは主に支援していたドイツの NGO の支援が受けられなくなり昨年 6 月末をもって閉鎖。子供たちはカトマンズから約 40km ほど西にある施設にお願いすることになりましたが、少しでも生活費・通学費・衣服費などを稼ぐために、現地の支援者を対象に日本から持参した古着等の販売、チャリティバザーを開催。

今回は現地のボーイスカウトの協力も得られるようになり、今後の協業が期待できる。



## 6. 過去のプロジェクト訪問

【訪問日時】2018年1月3日

【訪問場所】サク（サング）村

昨年度のプロジェクトとして、震災で家を失った身寄りのない人びとのための共同生活の家（CO-OPハウス）を避難所、仮設共同住宅の見本として建設

【実施内容】

プレハブ方式で早く安全な建物を建設するという意図だったが、工事ができる職人の人手が足りず、まだ個別の部屋は使えない状況。伝統工法との兼ね合いがなかなか難しい。



### Ⅲ. 支援者・企業・団体 ご芳名（あいうえお順・敬称略）

ワークキャンプ以降にご協力いただいた方も含みます（今年末のワークキャンプで活用します）

#### 《支援金》

BS 大阪 70 団  
BS 吹田 10 団  
CBS 関西協議会有志  
秋吉 幸子  
井上 公男  
井上 重治  
株式会社 ウッズ  
梅影 順子  
扇町教会  
大阪大学 制御工学科 8 期生 同窓会  
岡崎 道男  
岡本 正子  
小田垣 佐智子  
小田原 学  
加清 涼子  
川端 弘巳  
川端 悦子  
川端 湊太  
久下 智章  
久下 里江  
倉本 實  
小林 真二郎  
小林 祐子  
坂元 正武  
武部 美和子  
谷垣 幸代  
中川 秀次  
中村 光子  
野中 治  
有限会社 浜岡鍍金工業所  
林 清子  
林 牧  
林 芙美子  
廣野 亜樹  
廣岡 清美  
前地 隆裕

松木 典子  
南甲府教会  
南甲府教会虹の会  
宮本 修  
宮本 恭子  
森本 泰司  
森本 茂子  
山田 孝  
山梨英和学院  
山村 多恵子  
山本 貴美子  
匿名希望

#### 《支援物資その他》

板倉 由樹  
小田垣 佐智子  
公家 崇雄  
小林 譲二  
小林 直美  
佐伯 富有子  
坂元 美和  
芝原 泰子  
高野 博子  
田口 弘康  
田口 みち子  
仲山 幸子  
橋岡 剛子  
濱岡 千寿郎  
濱岡 静子  
原田 敦子  
山村 多恵子

以上